

■ ベテスダの池

ベテスダは「あわれみの家」という意味で、この池は癒しの奇跡が起こると言われていました。時々、神の使いがこの池の水をかき回すというのです。水がかき回されてから最初に池に入った人はどんな病でも癒されると言われています。

このベテスダの池のところには、様々な病にかかっている人々が大勢横になっていました。その池を通る時、イエス様はそこにどんな人がいるのかをすべてご覧になりました。そして、最も重くて長い病の人の一人のところに来られました。彼は38年も病にかかっている人でした。

■ メッセージのポイント

今日の個所で、イエス様は38年間病にかかっている人を癒しました。この話について、3つの質問を考えてみましょう。

(1) イエス様はなぜ38年間の病の人に「良くなりたいのか」と聞いたのでしょうか。

(2) イエス様はなぜ安息日に働きをされたのでしょうか。

(3) イエス様はなぜ38年間の病の人を癒したのでしょうか。